

# 聖火台モニュメント

## 戸田公園駅前西口広場に移設

川口市に隣接した戸田公園駅前西口広場に、1964年東京五輪の聖火台が、今も設置されている。前回東京五輪の主会場だった旧国立競技場の聖火台と同じデザインで、大きさは3分の2。これと同じ大きさの聖火台を、今も設置されている。川口市役所の中庭に5月から設置されていたが、



戸田市の小中学生が20年後の自分への手紙を投函

10月に戸田公園駅前西口広場に移設された。モニュメントは高さ1.44mで、下部直径は0.64m弱。旧国立競技場の聖火台や戸田ポートコースの聖火台と同様に逆の横線と波模様があらわれている。五輪開催や戸田市の聖火リレーに合わせて「『ポートのまち・戸田』の記憶を未来につなぐためのモニュメント」(菅原文仁戸田市長)として製作された。川口鑄物工業協同組合が受注。製造にあたっては、(株)モリテックが設計・製作管理、永井機械製造(株)が鑄造管理、富和鑄造(株)が鑄造をそれぞれ手がけた。戸田ポートコースの聖火台と同じく木型から砂型を作り、20年6月18日に注湯を行った。材質はFCD(球状黒鉛鉄)450で、本体重量は約940kg。7月6日の聖火リレー通過後に、戸田市役所で小中学生による「未来の君へ想いをこめて」メッセージ投函式が行われ、20年後の自分への手紙が、このモニュメントに投函された。

### ロイヤル浦和 賀詞交歓会

川口鑄物工業協同組合と川口鑄物工業政経研究会と川鑄商事(株)は、2022年(令和4年)1月7日18時から、賀詞交歓会を、ロイヤル浦和(さいたま市浦和区)4階ロイヤルラウンで開く。賀詞交歓会の開催は2年ぶり。川口鑄物工業協同組合と川口鑄物工業政経研究会と川鑄商事(株)は、2022年(令和4年)1月7日18時から、賀詞交歓会を、ロイヤル浦和(さいたま市浦和区)4階ロイヤルラウンで開く。賀詞交歓会の開催は2年ぶり。

# 市産品フェアに初出展

## 川口鑄金工芸研究会

川口鑄金工芸研究会(猪俣幸治会長)は、11月12日～14日にSKIPシティで催された「川口市産品フェア2022」に初めて出展した。減少傾向にある会員の増加に向け、PR活動を強化



会員増加に向けてPR活動を強化



「きゅぼらん」を展示販売

市産品フェア2022(11月12日～14日)にSKIPシティで催された「川口市産品フェア2022」に初めて出展した。減少傾向にある会員の増加に向け、PR活動を強化

様々な職業や年齢の市民が自主運営する任意団体である鑄金工芸研。毎週水曜と金曜の週2回、(株)山崎鑄鉄工業所(川口市朝日)内の鑄物実習場で「鑄金工芸教室」を開催し、美術工芸品や身の回りの道具などを鑄物で制作している。1964年東京五輪の聖火台(旧国立競技場の炬火台)を作り上げた鈴木文吾さんが生前、講師を務めたことでも知られる。初の商品の「きゅぼらん」は、川口市の同名のゆるキャラを手のひらサイズにしたもので、亜鉛合金鑄物製。同市の許可を得て、商品化にこぎ着けた。価格は3500円。

## 経済産業省 生産動態統計

経済産業省が発表した10月の生産動態統計(速報)によると、鉄鋼鑄物の生産量は前年同月比9.3%減の24万8908トとなった。銅・銅合金鑄物の生産量は前年同月比10.2%増の5306トと増加した。

## 委員会報告

川口鑄物工業協同組合は11月9日に開いた理事・部会長会で、10月の総務・業務両委員会の審議内容に関する報告があった。主な内容は次のとおり。

- 【総務委員会】(佐々木正委員長)①組合機関紙「川口鑄物ニュース」10月25日号の編集について承認②11月20日の組合員懇親会の進行・会場レイアウトなどについて最終確認③令和4年(2022)年の賀詞交歓会について検討④9月の財政収支について事務局から説明があり了承⑤令和3年度上期の財政収支について事務局から説明があり了承⑥9月の材料試験結果報告書について指示⑦(株)神戸製鋼所の銑鉄について報告

## 貿易実務講座 (入門編)

川口産業振興公社は来年2月19日・26日の2日間、「貿易実務講座(入門編)」をメディアセブ(川口駅前前、キユーポ・ラ7階)で開催する。時間は13時～17時。川口市内在住または在勤で、これから貿易業務に携わる人や、貿易実務の基礎知識を身につけた人が対象。貿易取引の契約や通関、船積み、決済などの実務について講義。輸出入業務のシミュレーションや英文書類の作成などの演習も行う。参加費は3千円。定員は12人。来年1月14日8時30分からウェブで申し込みを受け付ける。問い合わせは同社(電話048・2633・1110)へ。

## 脱退

川口鑄物工業協同組合は11月9日の理事会で、石渡鑄造(株)(石渡貴浩代表取締役、青木北鑄造部会)の申請した脱退(自由脱退)を承認した。自由脱退は通知のあった年度の期末になるため、現在109社の組合員数は2022年4月で107社となる。

## ちょっと気になる 川口情報 鑄物に関する本の展示・貸出



川口市立中央図書館(川口駅前前、キユーポ・ラ5・6階)は、6階の相談カウンター前で、鑄物に関する本の展示・貸出を来年3月末日(予定)まで行っている。「図書館で知る川口」の第3弾として企画。様々な鑄物製品で有名な川口市の中でも、昔懐かしいのが鑄物ストープ。最盛期には国内シェアの約80%が川口産のこともあった。鑄物に関する本とともに、実物の鑄物ストープと関連する鑄物製品を展示している。通常は背表紙で並んでいることが多い本が、表紙や写真などがしっかりと見ることができ、関心を高める良い機会となっている。問い合わせは同館(電話048・227・7611)へ。

## 鑄鉄 非鉄鑄物8月の生産動向

用途別	令和3年8月		令和3年7月(前月)		令和2年8月(前年同月)	
	重量(t)	前月比(%)	重量(t)	前月比(%)	重量(t)	前月比(%)
一般・電気機械用	4,119	99.2	4,154	100.8	2,532	61.0
輸送機械用	2,295	78.2	2,934	127.8	1,657	56.5
その他用	1,252	92.2	1,358	108.4	1,384	108.6
合計	7,666	90.8	8,446	110.2	5,573	72.5
対象工場数	68		68		68	

  

種別	令和3年8月		令和3年7月(前月)		令和2年8月(前年同月)	
	重量(kg)	前月比(%)	重量(kg)	前月比(%)	重量(kg)	前月比(%)
銅・銅合金鑄物	18,636	94.0	19,829	106.4	29,990	158.2
アルミニウム鑄物	1,006,973	62.7	1,605,861	159.5	1,193,954	117.0

資料：川口鑄物工業組合調査、経済産業省生産動態統計調査のうち埼玉県内の事業所集計分(非鉄鑄物生産量は経済産業省生産動態統計調査による)  
注1) 30人未満の事業所分は川口鑄物工業組合調査結果から下記の計算により算出しています。有効回答の合計重量 × 調査対象事業所数 / 有効回答事業所数  
注2) 「鉄鑄物」…ここでは必ずしも鑄鉄及び球状黒鉛鑄鉄を指し、可鍛鑄鉄等を除く。

## テストピース用シェル鑄型の販売価格

品名	組合員価格	員外価格
○FC用シェル (2本1組)	550円	1,100円
○FCD用ノックオフ形シェル	550円	1,100円
○板チル用シェル (10個1組)	495円	990円
○発光分光分析用定盤	6,600円	1セット
○ " " 金型	26,400円	66,000円

(税込)



川口鑄物工業協同組合

○申込み・問い合わせは—  
業務部材料試験課(直通) 電話 048-228-3047  
FAX 048-224-1829